

新緑や一面に広がった稲の青さを見ると生命力を感じます。この様な美しい景色を見ると、奈良の唐招提寺で鑑真の像を見て詠んだ松尾芭蕉の句を思い出します。

『若葉して御目の雫ぬぐはばや』

鑑真は日本に仏教を伝えるために、失敗を繰り返しながらも東シナ海を渡り、六回目に遂に日本に到着。しかし、苦難のために視力を失ってしまいました。この句は、「その目の涙を、生命力があふれる柔らかな新緑で拭ってさしあげたい」と言う意味が込められています。忘れてはならない大切な心情が伝わっていきます。

世界中を震撼させた新型コロナウイルスが、インフルエンザと同じ扱いになり、対策は個人に委ねられました。不便さから解放された感じがしますが、多くの方が亡くなられた事実は消えず、心痛みます。場所によってはマスク着用と、予防の意識で手洗いなどはまだ心がけた方が良いかもしれません。芭蕉の句のように、他者への思いやりは持ち続けたいものです。

◎新宝物館の懇志のお礼

高田本山の新宝物館新築にあたり、皆様には懇志をあげて頂きましたこと深く感謝申し上げます。本山には総代の渥美眞一様に納めに行って頂きました。

◎高田本山 特別法要と正念寺住職の法話のご案内

5月21日から28日まで高田本山で特別法要がとまります。五十年に一度の勝縁です。イベントも盛りだくさん企画されていますので、ぜひお参り下さい。詳細は、同封の本山パンフレットをご覧ください。

この期間、正念寺住職の法話もごさいますので、聴聞して頂ければ幸いです。

正念寺住職の説経の日時

5月27日(土) 12時～12時半 高田本山の御影堂にて

◎正念寺春季 永代経のご案内

左記の通り、春季永代経をしますのでぜひお参りください。

日時 6月10日(土) 午後1時30分～

11日(日) 午後1時30分～

法話 正念寺 住職

新加入者の方々は次の通りです

個人名につき省略